



もしかして、あなたのすぐそばに… クマの出没にご注意 ください

【問い合わせ】 農村林務課(☎23-1400)

昨年度の市内におけるツキノワグマ(以下、「クマ」と表記)の目撃件数は、一昨年度より583件多い886件、捕獲頭数は59頭多い73頭と過去最多でした。本年度もすでに目撃情報が寄せられているほか、県内全域に「ツキノワグマの出没に関する警報」が発表され、注意が必要です。

■警備体制などの強化を図ります

令和6年度から本格的に運用を開始しているAI(人工知能)カメラについて、本年度は40台増やし、計120台体制でクマの早期発見・追い払いができるよう警備体制を強化します。



▲市内に設置したAIカメラが捉えたクマ

また、岩手大学と連携しクマの生息密度調査(ヘアトラップ調査)を、本年度は市内複数カ所で行い、人里周辺で活動しているクマの状況などを明らかにします。さらに、クマの移動経路と思われる河川敷やクマが隠れる可能性のあるやぶなどの草刈りを継続します。

■子どもたちが安全に通学できる環境を整えます

クマが市街地などに出没して危険と考えられる場合は、保護者の皆さんによる車での送迎をお願いいたします。送迎が難しい家庭については、引き続き市の費用負担でタクシーや貸切バスなどによる送迎を臨時的に行い、子どもたちが安全に登下校できる環境を整えます。

※市や学校から保護者の皆さんに車による子どもの送迎の依頼があった場合には、危険ですので、子どもたちの徒歩や自転車での登下校は控え、車での送迎の徹底をお願いします。

また、市内全ての小中学生が「クマよけベル」を身に付けられるように、新小学1年生にはクマよけベルを配布しました。

■有害鳥獣対策推進員を増員しました

市では、クマをはじめとした有害鳥獣対策の専門家である「有害鳥獣対策アドバイザー」のほか、わなの設置や見回り、追い払いなど現場対応に特化した活動を行う「有害鳥獣対策推進員」などを配置しています。本年度は、有害鳥獣対策に関する広報活動や現場確認、パトロールを中心に行う「有害鳥獣対策支援員」を1人増員しました。

電気柵の購入

■対象 次のいずれかを満たす人
。市内の土地を所有または管理している人
。本市に隣接する市町の土地を所有または管理している市内在住の人



■対象経費 電気柵の購入にかかる費用
※設置費用や送料などは対象外

■補助額
。団体(農地の所有者などが3人以上)の場合:対象経費の4分の3以内(補助上限額なし)
。右記以外の場合:対象経費の3分の2以内(補助上限額なし)

この他にも、市ではクマ対策に関するさまざまな補助制度を設けています。詳しくは、市ホームページまたは農村林務課(☎23-1400)へお問い合わせください。



充実した補助制度で 被害防止を図ります

市では、クマやイノシシ、シカなどの有害獣による人的被害や農作物被害を防ぐため、クマ撃退用スプレアの購入や放任果樹の伐採、電気柵、ガンロッカーの購入などに対して支援を行っています。

クマ撃退用スプレアの購入

■対象 次のいずれかに該当の場合
。市内に住所を有する18歳以上の人がクマ撃退用スプレアを購入する場合
。市内にある事業所や団体などがクマ撃退用スプレアを購入する場合



■対象経費 クマに対して追い払い効果が認められるスプレアの購入費
※送料や付属品、対人スプレアなどは対象外

■補助率 補助対象経費の4分の1以内

■上限額 1本につき5千円

放任果樹の伐採

■対象 市内の土地を所有または管理している人

■対象経費 市内のカキやクリの木の伐採にかかる費用
※幹の太さが直径9センチ未満の木は対象外



▲令和5年石鳥谷町大瀬川地内にて撮影

補助額

。業者に委託する場合:対象経費の2分の1以内(1本当たり15万円を上限)
※1本当たり20万円を超える委託の場合は2者以上の見積りが必要
。それ以外:1本当たり2千円

被害を防ぐために
私たちにできること

クマを引き寄せないために

。住宅や通学路などの周辺にあるやぶを刈り払いして見通しをよくする
。家の周りに残飯などを捨てない

。農作物は早めに収穫し、廃棄予定の農作物も放置しない
。キャンプなどで発生したごみを持ち帰る

。墓地の供え物などを持ち帰る
。不要な果樹(カキやクリなど)を伐採する(市が伐採費用の一部を補助しています)

クマに遭わないために

。クマの行動が活発な朝夕や霧が出ているときは周りに注意する

。鈴、笛、ラジオなど、音のするものを身に着ける
。単独行動は避け、2人以上で行動する

。クマのふんや足跡を見つけたらすぐにその場から離れる
。子グマを見つけたら、近くに親グマがいる可能性があるため、そっと立ち去る

クマに遭ってしまったら

。急に立ち上がったたり、大声を出したり、物を投げつけたりしてクマを刺激しない
。本能的に襲い掛かってくるため、背中を見せて走って逃げない

。急な突進に備えて木などを盾にしながらかゆったり後退する
。突進されたら体勢を低くして、両手で頭や顔を防御する(顔を覆えるヘルメットなどの着用も有効です)

。クマ撃退用スプレアは、風向き、射程距離、噴射持続時間に注意して使用する

クマを見掛けたら、下記までご連絡ください。なお、市公式LINEでは市内のクマの目撃情報を配信していますので、ぜひ登録をお願いします。



- ▶ 農村林務課(☎23-1400)
- ▶ 各総合支所産業係(大迫☎41-3122、石鳥谷☎41-3442、東和☎41-6512)
- ▶ 花巻保健福祉環境部保健福祉環境センター(☎41-5405)
- ▶ 花巻警察署(☎23-0110)

